



学校だより

流山市立西初石小学校
 校長 草刈 俊晴
 在籍児童数 751名
 教育活動アンケート特別号
 平成31年 1月11日

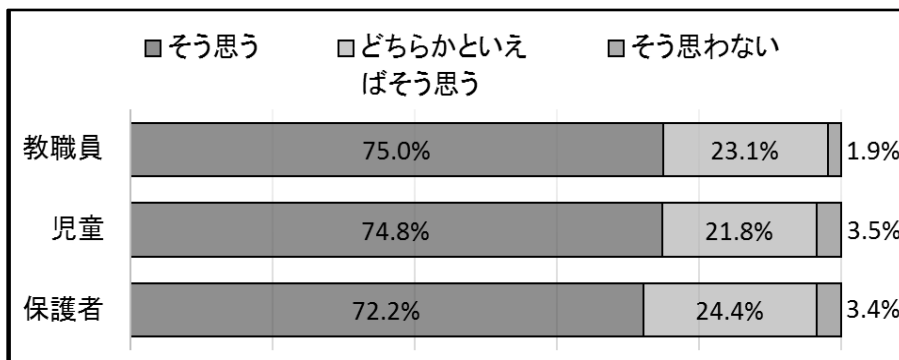
教育活動アンケート集計結果・考察特集

今回の学校だよりでは、平成30年11月30日～12月14日に実施しました、教育活動アンケート調査の結果とその考察についてご報告いたします。

アンケートは、児童については、全校児童751名を対象にアンケート用紙を配付し、745名が回答（回答率99.2%）しました。保護者の方からは全家庭602件中、554件より回答をいただき、回収率は92.0%でした。教職員については、臨時職員を含むみ、全職員を対象に行いました。

1、結果と考察

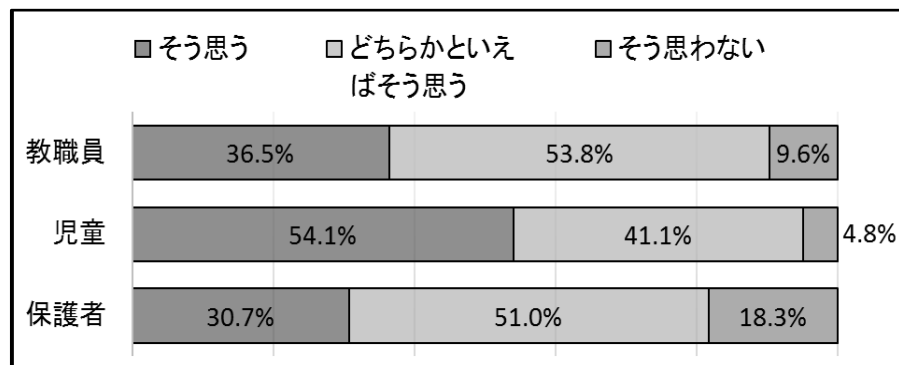
(1)、教職員・児童・保護者：楽しく学校に通っていると思いますか。



肯定的な回答が三者とも多かったことをうれしく思う一方、児童も保護者も「そう思わない」と課題のある回答がほぼ同じ割合で見受けられます。どの子も楽しく通える学校を目指し、温かい声かけや、学ぶ楽しさを感じる授業、個に応じた対応等に、今後も力を注いでいきたいと思ひます。

(2)、教職員・保護者：西初石小学校の児童は、あいさつをよくしていると思いますか。

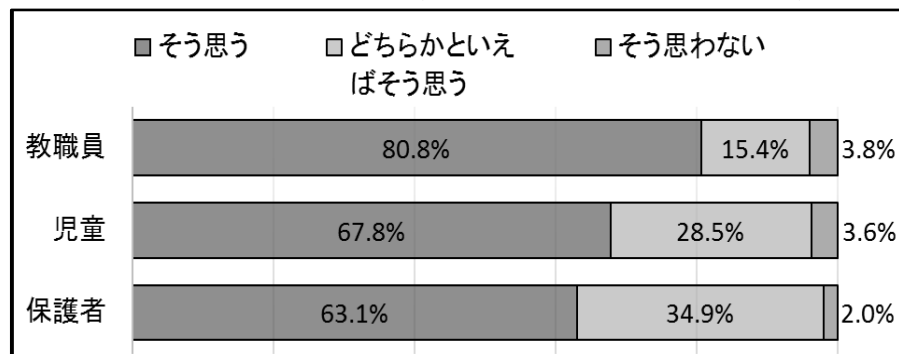
児童：あなたは、友達や先生、地域の方によくあいさつをしていますか。



児童の肯定的評価が三者で最も高く、過去4年間の児童の結果でも、高い数字となりました。その反面、教職員や保護者は、児童ほどは実感を伴っていないことがわかります。ただ、大人が「良いあいさつとは何か」を指導することで、さらに向上することが見込まれます。今後も家庭・地域と連携し、進んであいさつのできる児童を育てていきたいと思ひます。

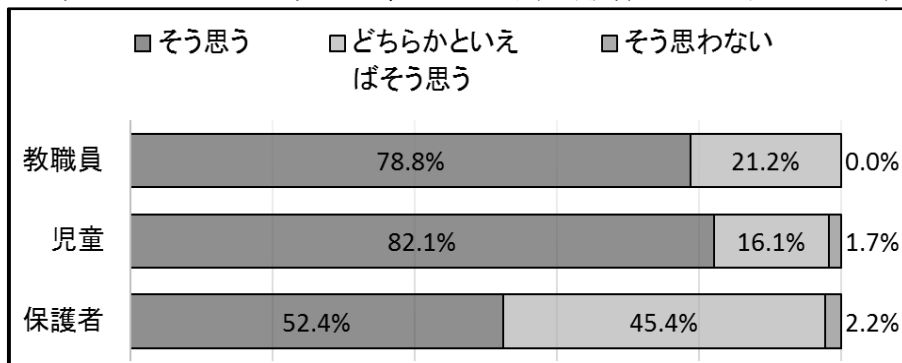
(3)、教職員・保護者：学校は、異学年とのふれあい活動や学級活動をはじめ、思いやりや社会性を育てようとしていると思いますか。

児童：あなたは、ふれあい学級やクラスでは、約束を守り、友だちと協力していますか。



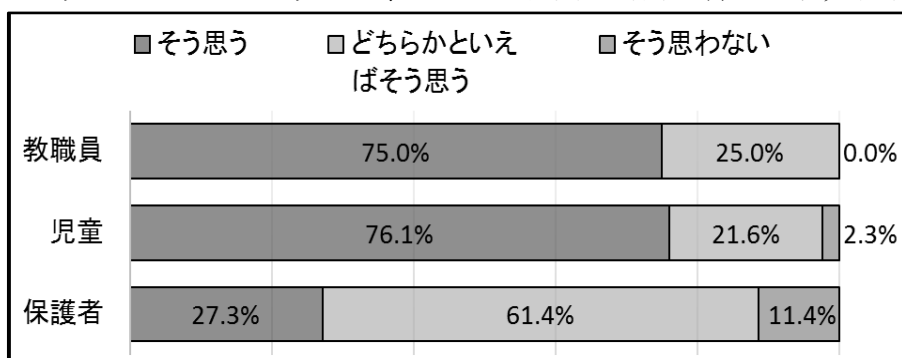
異学年で交流給食・交流遊びをするふれあい学級は、本校の特色ある取り組みの一つです。高学年はリーダーとして、中学年は協力し盛り上げる、低学年は楽しみ感謝する、という目標の活動が、教師・児童だけでなく、保護者からの肯定的な回答が98%と最も高く、うれしく感じます。この活動の教育的価値を考え、今後も良い活動にしていきたいと思ひます。

(4)、教職員・保護者：学校は、学年に応じた、わかりやすい授業を行っていると思いますか。
 児童：先生は、わかりやすく授業をしてくれていますか。



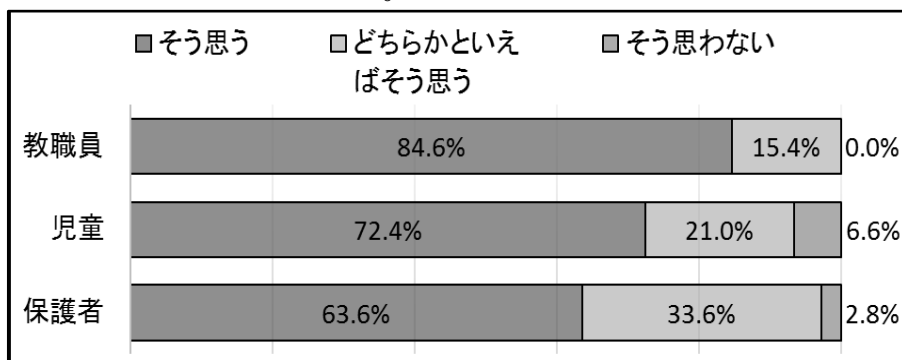
児童の「そう思う」が最も高かった項目です。各学年での授業研究や交換授業、サポート教員や算数指導員、ALTや英語活動移動員、少人数指導教諭、ICTを取り入れた指導や地域人材の活用など、さまざまな方法でわかりやすい授業づくりに努めていることが、伝わったと感じます。今後も、授業力の向上に努めていきます。

(5)、教職員・保護者：学校は、個の特性に応じた教育的支援に努めていると思いますか。
 児童：先生は、あなたの気持ちや力に合った手助けや指導をしてくれていると思いますか。



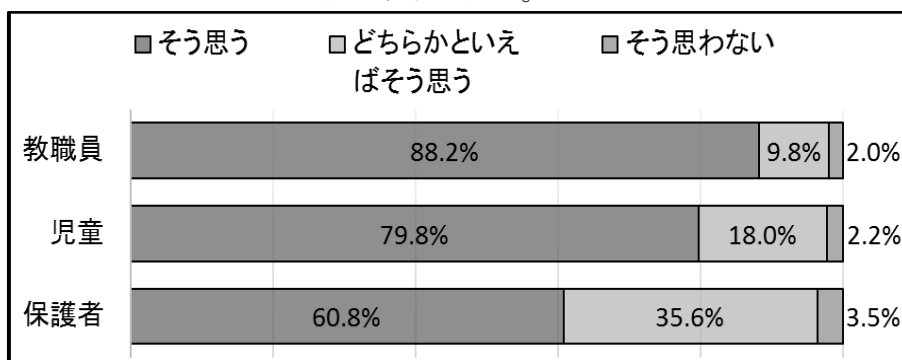
昨年より肯定的な回答が約7%と大幅な向上があったとは言え、保護者の「そう思わない」の回答が最も高い項目です。本校では、必要に応じて個別の指導計画の作成、サポート指導員による支援、専門家の助言・指導等、個への支援に努めています。今後も保護者との協力・連携のもと、子どもたちの支援について、研鑽を積んでいきたいと思っています。

(6)、教職員・保護者：学校は、運動会や持久走、部活動をはじめ、体力や気力の向上に取り組んでいると思いますか。
 児童：あなたは、運動会や持久走、部活動で、体力やがんばる気持ちを身につけることができましたか。



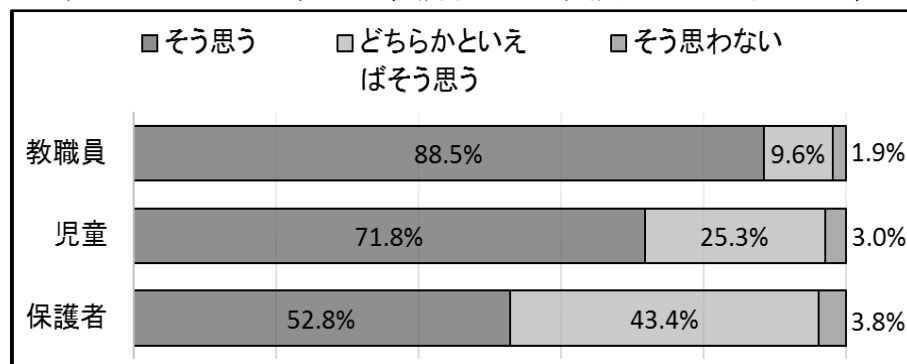
本校では、生きる力につながる体力の向上に力を入れており、三者とも肯定的にとらえていることは、良かったと思います。西初タイムやロング昼休みでの外遊びの奨励や、県の「遊友スポーツランキングちば」への参加等、運動の得意、不得意に関係なく、全校で楽しみながら体力の向上につなげることも行っていますので、ご協力をお願いします。

(7)、教職員・保護者：学校は避難訓練、防犯教室、生活安全教室、交通安全教室をはじめ、子どもの安全を守るように努めていると思いますか。
 児童：あなたは、避難訓練、防犯教室、生活安全教室、交通安全教室などで、自分の身の守り方がわかりましたか。



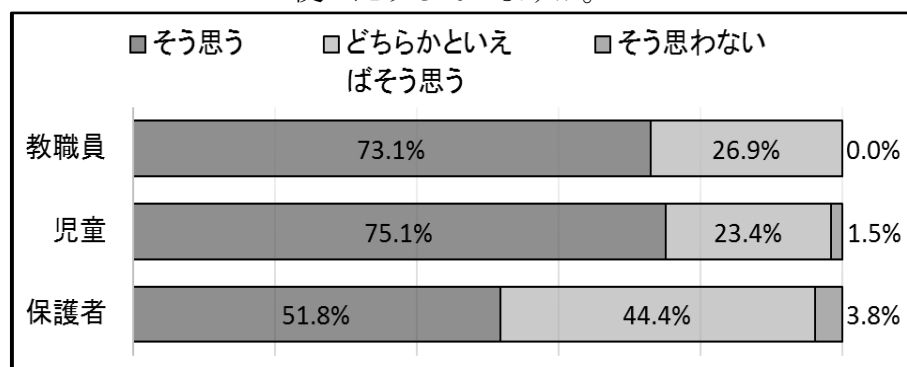
児童自身が自分の身は自分で守れる力を身につけられるように、発達段階に応じた指導を心がけていることが評価されていると感じます。教育課程の中で、消防署や警察署と連携して防災教育・交通安全教育等を実施することはもちろん、登下校時の安全指導では保護者や地域の方のご協力に、感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

(8)、教職員・保護者：学校は、児童や保護者、地域の方々の話をていねいに聞こうとしていますか。
 児童：先生は、悩みごとの相談にのってくれたり、いろいろな話を聞いてくれたりしますか。



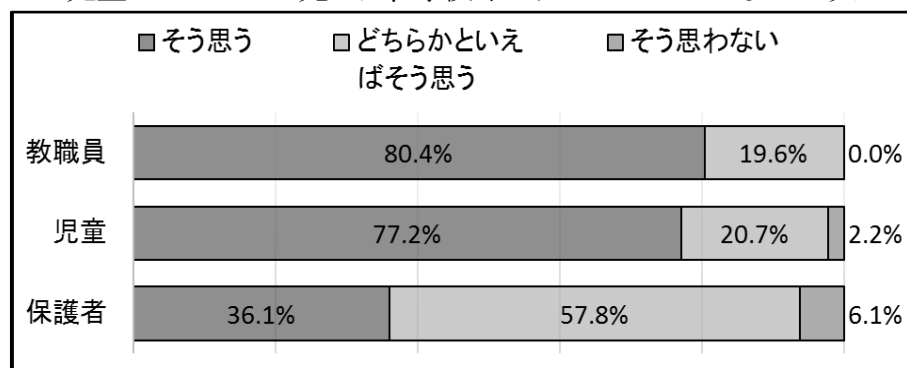
児童・保護者ともに、過去4年間で着実にポイントを向上させてきた項目です。より教育相談しやすい環境づくりに取り組んだり、定期的にアンケートを実施して悩みごとの解消に努めたりしながら、今後も丁寧に対応していきたいと思えます。何かありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

(9)、教職員・保護者：学校は、施設や設備等の教育環境を安全できれいに整えていると思いますか。
 児童：あなたは、一生懸命にそうじをして学校をきれいにしようしたり、学校のものを大切に使ったりしていますか。



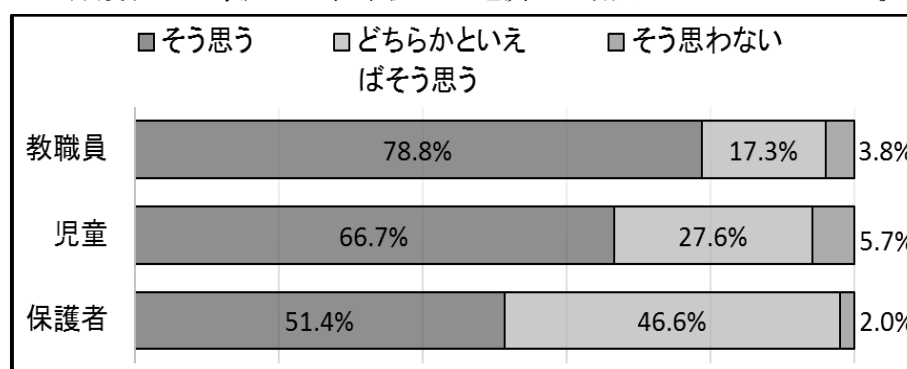
児童の評価で、一生懸命そうじに取り組んでいることがわかり、何よりもうれしく思います。施設・設備の老朽化に伴い、見た目に「きれい」と言えない点もありますが、市と協力して、一生懸命整備に努めています。おかげさまで今年は、ボランティアの方々の協力により、遊具のタイヤを交換するなど、大きな向上もありました。今後もより良い教育環境を目指し、安全面はもちろん、きれいな学校をめざしていきます。

(10)、教職員・保護者：学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。
 児童：先生は、学校やクラスでいじめがないようにしていますか。



いじめのない学校づくりについて、例年保護者の心配される方の割合が、教師や児童よりも多いことが顕著に見られます。学校ではいじめはいつでも、どこでも起こり得るものと認識しながら日々の教育活動を行うとともに、いじめ防止に特化した取り組みも行っています。昨年度の結果を受け、それらを保護者の皆様にお知らせし、共有していくよう取り組んでいますが、まだまだ不十分な面があったということだと思いますので、来年度の課題として受け止め、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

(11)、教職員：保護者は、学校との連携に努力していると思いますか。
 児童：あなたは、おうちの人に学校の話をしたり、学校からの手紙をちゃんとわたしたりしていますか。
 保護者：ご家庭では、学校との連携にご協力いただきましたか。



今回のアンケートで、(3)と同様、保護者の肯定的な回答が最も高かった設問です。今年度、学校支援地域本部コーディネーターの活動も加わり、学校に足を運んでいただいた方が増えたことも、一因と考えます。今後も、継続していきたいと思えます。その一方、児童の「そう思わない」の5.7%は気になる数字です。指導を行っていくとともに、保護者の皆様への情報が行き届くような対策として、保護者メールの一層の活用を図っていききたいと思います。

なお、設問内容は学校が目指すべき姿と考えております。その達成状況を昨年度と比較できるように、設問内容は昨年度と同じにしました。

2、全体を通して

下の表は、過去4年間の児童と保護者の回答について、肯定的な評価（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の数値を合わせたものです。多くの項目で、今年度がこれまでで最も良い結果となっています。

太字は保護者と児童が4年間で最も良い数字を表します						
番号	項目 ※（ ）は児童の項目	回答者	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
(1)	楽しく学校に通っているか。	児童	93.5%	90.2%	92.0%	96.5%
		保護者	95.1%	94.6%	95.0%	96.6%
(2)	あいさつをよくしているか。	児童	89.8%	88.5%	91.0%	95.2%
		保護者	86.2%	87.0%	76.7%	81.7%
(3)	思いやりや社会性を育てようとしているか。 (約束を守り、友だちと協力しているか。)	児童	92.2%	93.2%	95.1%	96.4%
		保護者	95.8%	98.1%	96.5%	98.0%
(4)	わかりやすい授業を行っているか。	児童	92.4%	91.9%	95.9%	98.3%
		保護者	90.4%	91.9%	94.1%	97.8%
(5)	個の特性に応じた支援をしているか。 (気持ちや力に合った手助けや指導をしているか。)	児童			92.7%	97.7%
		保護者			81.1%	88.6%
(6)	運動会、持久走、部活動で体力や気力の向上に取り組んでいるか。 (体力や頑張る気持ちを身につけたか。)	児童	91.9%	91.2%	93.0%	93.4%
		保護者	91.1%	90.4%	95.4%	97.2%
(7)	子どもの安全を守るように努めているか。 (自分の身の守り方がわかったか。)	児童	94.9%	93.7%	96.1%	97.8%
		保護者	95.1%	96.2%	97.1%	96.5%
(8)	子ども、保護者、地域の話丁寧に関心を持って聞こうとしているか。 (悩みごとの相談にのったり、いろいろな話を聞いてくれたりするか。)	児童	87.5%	88.0%	92.4%	97.0%
		保護者	86.0%	91.9%	92.5%	96.2%
(9)	教育環境を安全できれいに整えているか。 (一生懸命そうじして学校をきれいにしようしたり、学校のことを大切にしたりしているか。)	児童	95.2%	94.6%	95.1%	98.5%
		保護者	94.2%	94.3%	94.5%	96.2%
(10)	いじめのない学校づくりに取り組んでいるか。	児童	90.1%	91.4%	93.7%	97.8%
		保護者	83.6%	88.9%	88.9%	93.9%
(11)	学校との連携に協力したか。 (学校の話をし、学校からの手紙をちゃんとわたしているか。)	児童	91.2%	89.5%	90.2%	94.3%
		保護者	95.1%	95.5%	96.1%	98.0%

今年度は、昨年度のアンケートの結果を受けて、学校運営のキーワードを「わかる授業」「個に応じた支援」「傾聴」「安全(けがの防止)」「連携」の5つにし、「信頼」を合言葉に取り組んでまいりました。これらのキーワードが、今回のアンケートの結果に、成果となって表れたと感じられ、良かったと思っています。

しかし、学校に楽しく通っていないと答えた3.5%(約26名)の児童を含め、「そう思わない」と回答した児童を見過ごすことはできません。お子さんが生き生きと学校生活を送っていないのであれば、保護者の方も学校への信頼が薄れることもあると思います。「そう思わない」という児童の減少、来年度のゼロを目指し、より丁寧な指導、個に応じた寄り添った対応を、さらに進めていかなければいけないと考えています。

今年度は、学校支援地域本部が立ち上がり、コーディネーターの尽力もあって、多くの方に学校へ足を運んでいただき、子どもたちの活動に携わっていただきました。今後も保護者・地域の方のお力をいただきながら、より「地域に開かれた学校」をめざしてまいります。

なお、学校運営に関するご意見・ご感想はいつでもお受けし、よりよい西初石小学校にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。